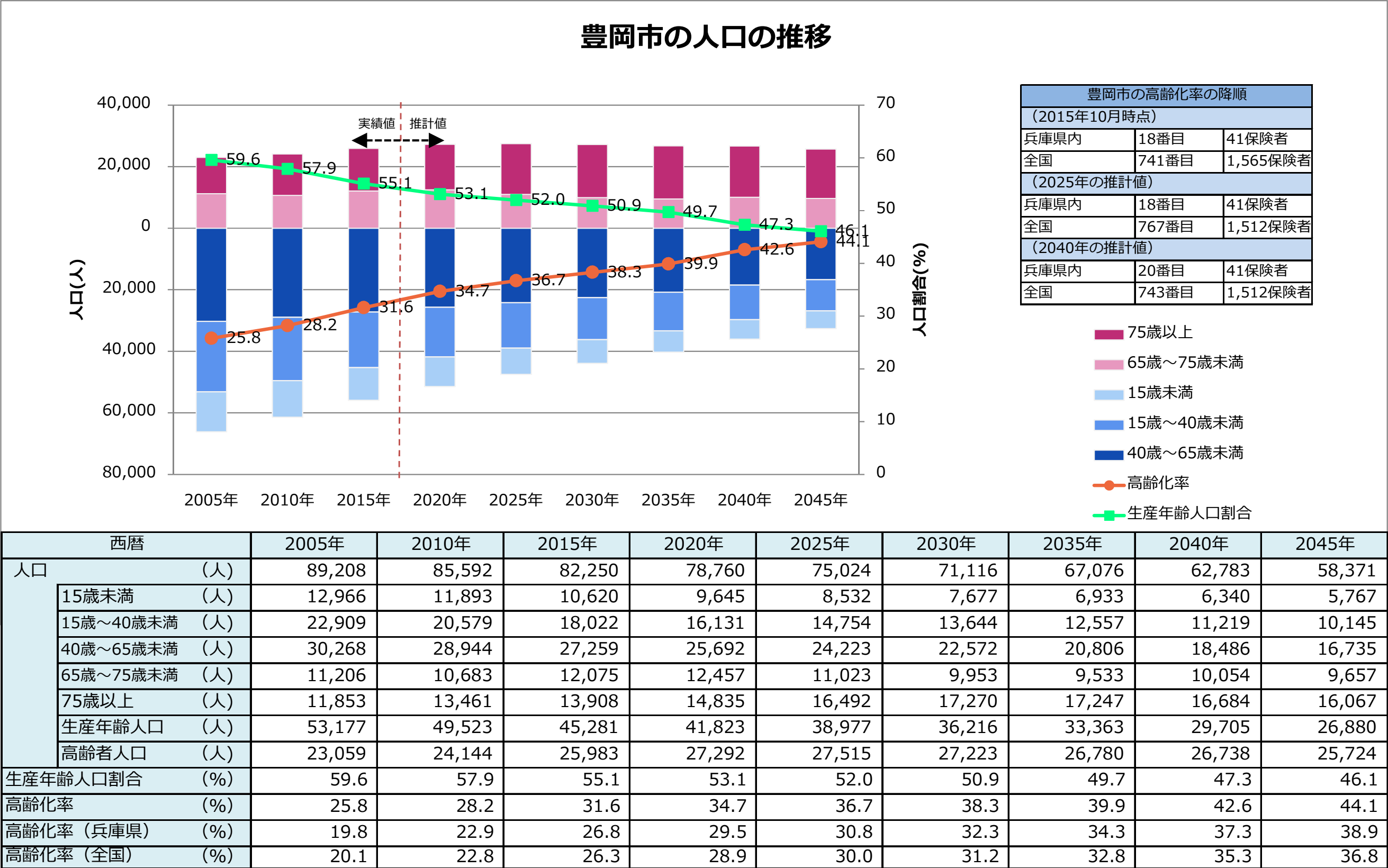


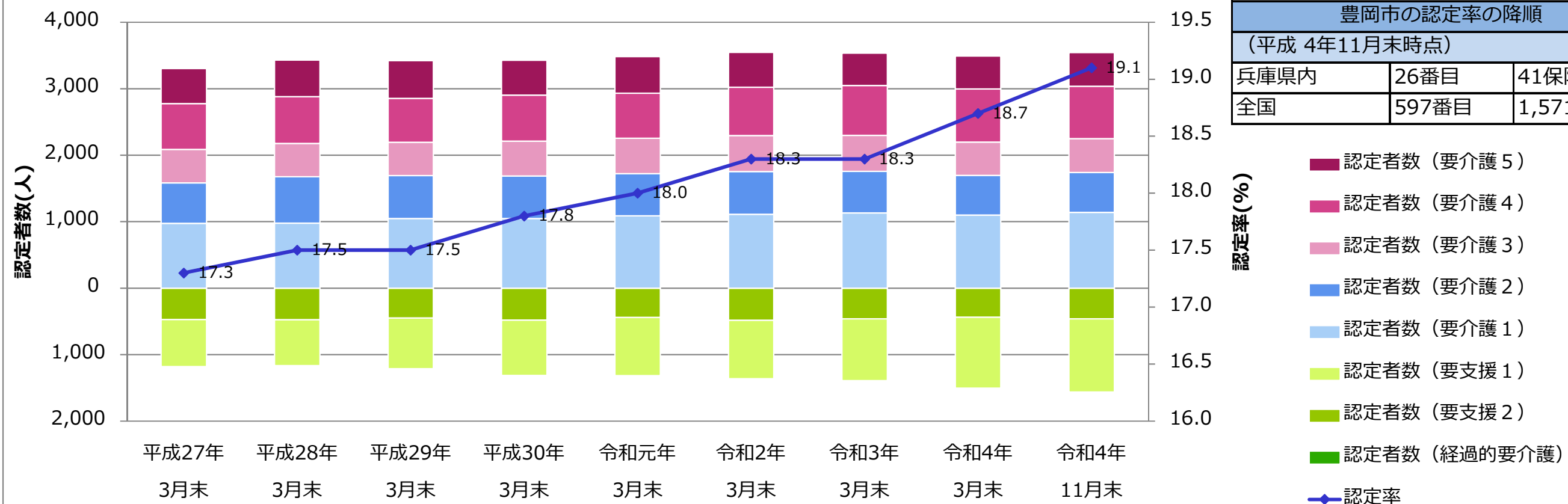
協議事項
ア 豊岡市の人口、認定者数、介護給付費、保険料の推移について



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」※地域包括ケア「見える化」システムから引用した資料であり、老人福祉計画・第8期介護保険事業計画に記載している数値とは異なります。

豊岡市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移

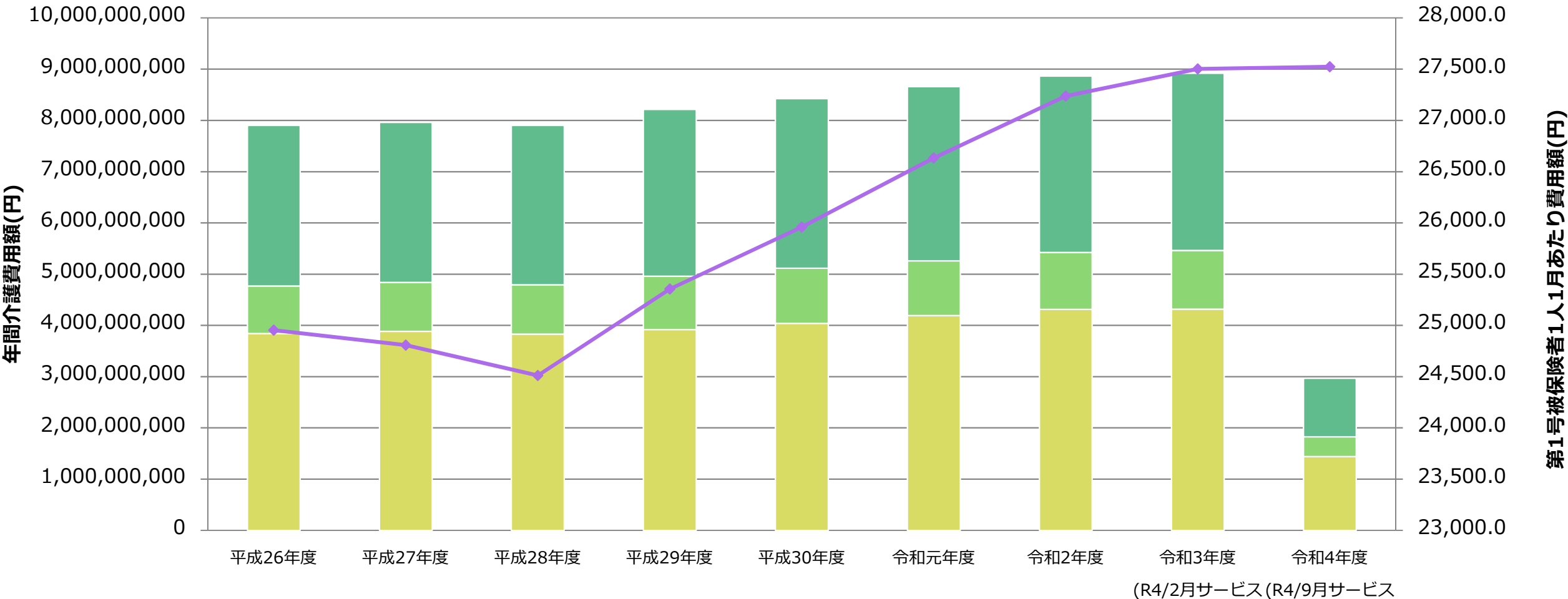


	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末	令和4年 11月末
認定者数 (人)	4,483	4,597	4,634	4,741	4,800	4,907	4,926	4,997	5,105
認定者数（要支援 1） (人)	706	689	763	832	875	876	929	1,066	1,101
認定者数（要支援 2） (人)	474	477	449	481	441	485	461	439	460
認定者数（経過的要介護） (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数（要介護 1） (人)	976	977	1,047	1,047	1,089	1,112	1,132	1,101	1,141
認定者数（要介護 2） (人)	606	699	646	642	633	642	626	595	599
認定者数（要介護 3） (人)	506	502	502	522	532	542	542	502	510
認定者数（要介護 4） (人)	689	704	660	692	680	726	748	799	786
認定者数（要介護 5） (人)	526	549	567	525	550	524	488	495	508
認定率 (%)	17.3	17.5	17.5	17.8	18.0	18.3	18.3	18.7	19.1
認定率（兵庫県） (%)	18.8	18.9	19.1	19.1	19.6	19.9	20.1	20.4	20.8
認定率（全国） (%)	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.1

(出典) 平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

※地域包括ケア「見える化」システムから引用

豊岡市の介護費用額の推移



豊岡市の第1号被保険者1人1月あたりの費用額の降順		
（平成 4年 9月末時点）		
兵庫県内	10番目	41保険者
全国	483番目	1,571保険者

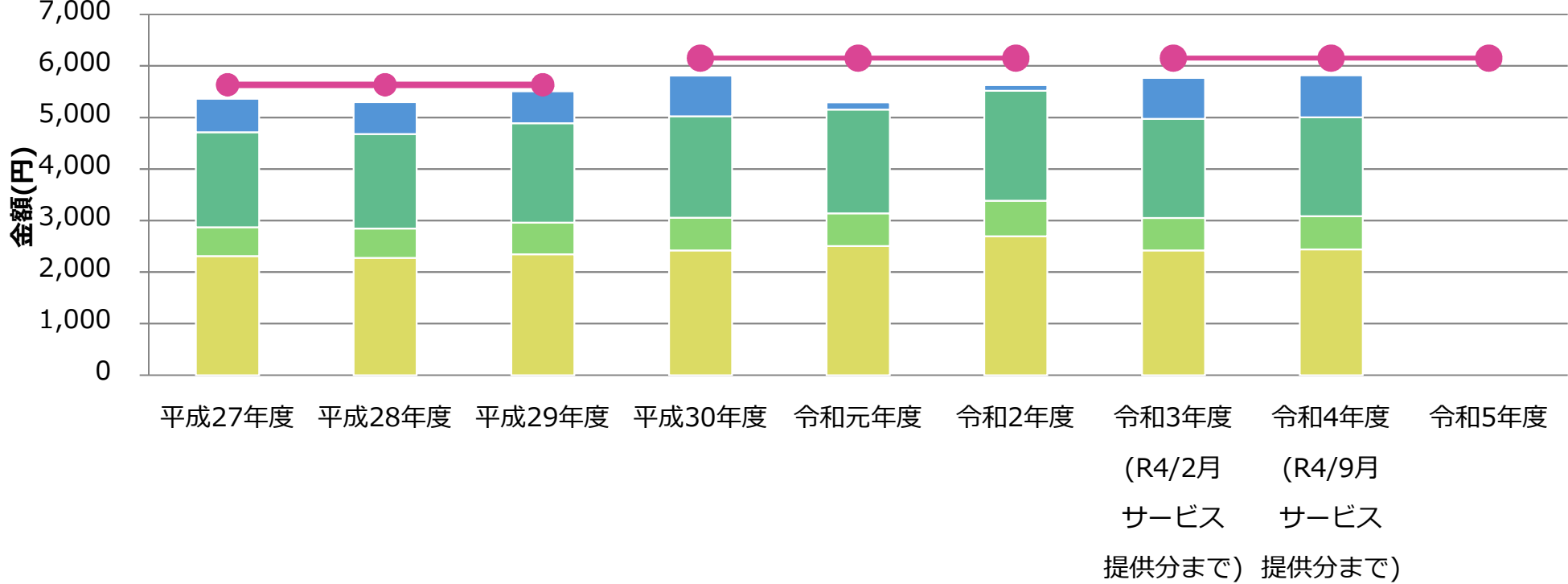
- 費用額（施設サービス）
- 費用額（居住系サービス）
- 費用額（在宅サービス）
- 第1号被保険者1人1月あたり費用額

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (R4/2月サービス 提供分まで)	令和4年度 (R4/9月サービス 提供分まで)
費用額	(円)	7,901,574,896	7,962,711,301	7,903,068,425	8,213,326,821	8,426,675,171	8,659,616,710	8,865,935,816	8,920,925,458	2,969,887,786
	費用額（在宅サービス）(円)	3,839,527,922	3,885,883,887	3,829,819,179	3,919,348,669	4,039,847,691	4,190,335,930	4,311,307,950	4,318,284,901	1,441,290,115
	費用額（居住系サービス）(円)	929,886,666	952,452,106	962,452,776	1,042,415,467	1,075,087,694	1,071,096,436	1,111,319,069	1,143,561,051	383,773,777
	費用額（施設サービス）(円)	3,132,160,308	3,124,375,308	3,110,796,470	3,251,562,685	3,311,739,786	3,398,184,344	3,443,308,797	3,459,079,506	1,144,823,894
第1号被保険者1人1月あたり費用額		(円)	24,954.7	24,808.0	24,511.6	25,355.6	25,960.2	26,633.2	27,238.2	27,502.7
第1号被保険者1人1月あたり費用額（兵庫県）		(円)	22,388.7	22,432.8	22,752.6	22,945.9	22,937.4	23,692.9	24,222.4	24,899.0
第1号被保険者1人1月あたり費用額（全国）		(円)	22,878.0	22,926.6	22,966.8	23,238.3	23,498.7	24,105.9	24,567.0	25,132.1

（出典）【費用額】平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和4年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）
【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報）」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

※地域包括ケア「見える化」システムから引用

豊岡市の保険料額の推移



豊岡市の必要保険料額の降順		
(平成 4年 9月末時点)		
兵庫県内	18番目	41保険者
全国	680番目	1,571保険者

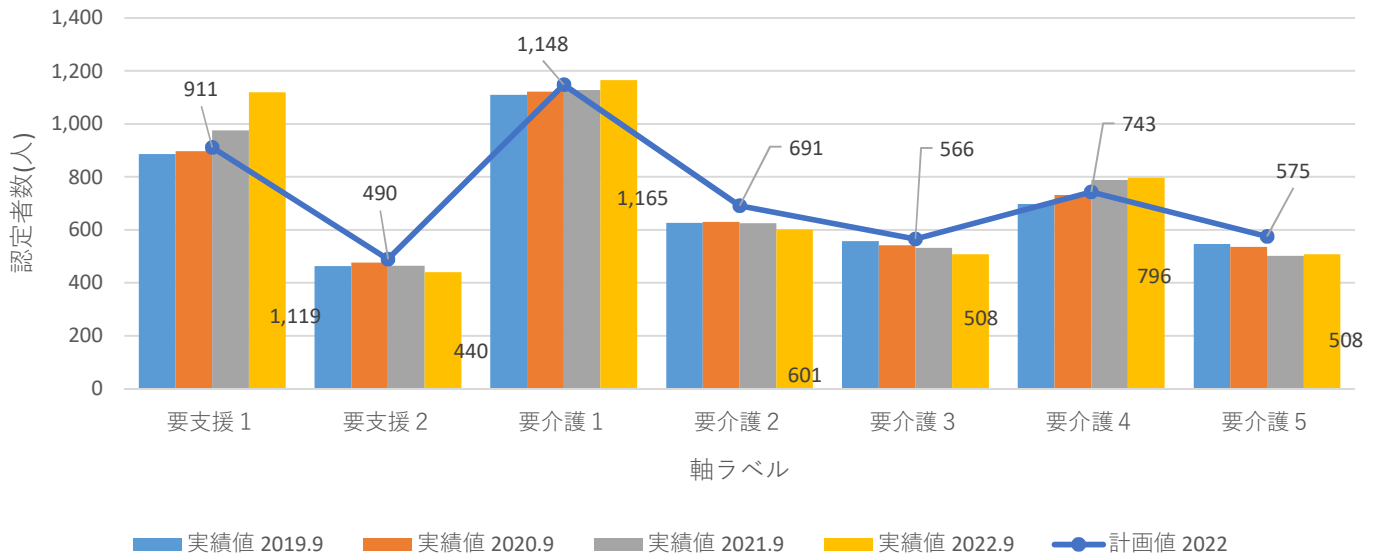
- 必要保険料額（その他）
- 必要保険料額（施設サービス）
- 必要保険料額（居住系サービス）
- 必要保険料額（在宅サービス）
- 保険料基準額

		第6期			第7期			第8期		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (R4/2月 サービス 提供分まで)	令和4年度 (R4/9月 サービス 提供分まで)	令和5年度
必要保険料額（合計）	（円）	5,365	5,298	5,508	5,810	5,294	5,627	5,766	5,818	-
	必要保険料額（在宅サービス）	2,312	2,278	2,343	2,419	2,506	2,696	2,419	2,441	-
	必要保険料額（居住系サービス）	560	565	617	638	635	689	633	642	-
	必要保険料額（施設サービス）	1,842	1,834	1,930	1,968	2,014	2,135	1,921	1,921	-
	必要保険料額（その他）	651	621	618	785	139	107	793	814	-
保険料基準額		5,634	5,634	5,634	6,150	6,150	6,150	6,150	6,150	6,150
保険料基準額（兵庫県）		5,375	5,375	5,375	5,895	5,895	5,895	6,001	6,001	6,001
保険料基準額（全国）		5,405	5,405	5,405	5,784	5,784	5,784	6,014	6,014	6,014

（出典）【必要保険料額】平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値、令和4年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値
【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

※地域包括ケア「見える化」システムから引用した資料であり、全国分の保険料基準額等、一部の項目については、国が公表している数値とは差異があります。
【国が公表している内容（令和3年5月14日公表資料より）】
・国の介護保険料額（月額・加重平均）は 6,014円（第7期は5,869円）（↓認定率は令和2年12月末時点）
・全国の保険料最低額 月額 3,300円（北海道・音威子府村 要介護認定率 8.9%）
（群馬県・草津市 " 16.1%）
" 最高額 月額 9,800円（東京都・青ヶ島村 " 13.9%）※豊岡市 546番目（1,571保険者中）
・県内の保険料最低額 月額 5,000円（稲美町 要介護認定率 15.1%）
" 最高額 月額 6,950円（養父市 " 22.1%）※豊岡市 13番目（41保険者中）

認定者数の推移と計画値との比較



(単位：人)

	実績値				計画値	計画値と実績値の差	実績値の増減
	2019.9	2020.9	2021.9	2022.9	2022	2022	2022-2019
要支援 1	886	897	975	1,119	911	208	233
要支援 2	463	476	465	440	490	△ 50	△ 23
要支援合計	1,349	1,373	1,440	1,559	1,401	158	210
要介護 1	1,109	1,121	1,128	1,165	1,148	17	56
要介護 2	626	630	625	601	691	△ 90	△ 25
要介護 3	558	542	532	508	566	△ 58	△ 50
要介護 4	697	731	788	796	743	53	99
要介護 5	546	536	502	508	575	△ 67	△ 38
要介護合計	3,536	3,560	3,575	3,578	3,723	△ 145	42
合計	4,885	4,933	5,015	5,137	5,124	13	252
前年度比人数	166	48	82	122	—	—	—

要支援 1 の認定者数について、計画ではほぼ横ばいと推計していましたが、計画値より大きく増加しています。

理由としては、2021年度から介護予防・生活支援サービスのみの利用についても、介護認定が必要な方は介護認定申請を案内するようにしたためと考えられます。

イ 介護予防・生活支援体制の整備について

高齢者がその有する能力に応じて可能な限り自立した生活を送ることができるように、生活支援・介護予防サービスの充実・強化を図ります。

(概要)

- 1 専門職による介護予防・生活支援サービスの提供
- 2 NPOや社会福祉法人等の団体と地域住民等が連携・協働するなど、多様な主体が提供する家事援助等の生活支援サービスや集いの場の提供
- 3 生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を通じた互助活動、民間サービス等を含む多様な生活支援に資する資源の発掘・創出

(推進状況及び計画値)

- 1 専門職による介護予防・生活支援サービスの提供

	2022年度 計画値	指定事業所数		延利用者数		実利用者数	
		2022年 1月末	2023年 1月末	2022年 4～1月	2023年 4～1月	2022年 1月	2023年 1月
予防給付基準 訪問介護事業	356 (人/月)	22事業所	23事業所	3,258人	3,101人	316人	316人
予防給付基準 通所介護事業	684 (人/月)	36事業所	36事業所	6,561人	6,942人	660人	649人

- 2 NPOや社会福祉法人等の団体と地域住民等とが連携・協働するなど多様な主体が提供する家事援助等の生活支援サービスや集いの場の提供

	2022年度 計画値		実施地区数		延利用者数		実利用者数	
	拠点 整備数	実利用者数	2022年 1月末	2023年 1月末	2022年 4～1月末	2023年 4～1月末	2022年 1月末	2023年 1月末
支え合い 生活支援サービス事業	14地区	125人	10地区	11地区	1,126人	1,166人	116人	109人
支え合い 通所介護事業	17地区	185人	13地区	13地区	1,152人	1,063人	96人	90人

- 3 生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を通じた互助活動、民間サービス等を含む多様な生活支援に資する資源の発掘・創出

(1) 生活支援コーディネーターの配置及び活動状況

委 託 先	豊岡市社会福祉協議会【2015(H27)年度～】
配置人数	6人
活動状況	住民主体による地域課題の解決が図れるように、地域コミュニティ組織や行政区等の協議の場において助言を行うなど、地域における課題解決のための協議の場の設定を支援した。

(2) 協議体

設置カ所数	2022年1月末現在	2023年1月末現在
	24カ所	25カ所

(3) 資源の発掘・創出

(協議の場等から発展した地区の取組み)

【2023 年 1 月末現在】

地 区	主 な 取 組 み 内 容
豊 岡	サロン、玄さん元気教室、集い場交流会、防災・福祉啓発活動、フェスティバル、福祉座談会
八 条	サロン、出張型サロン、福祉施設との連携、八条地区福祉連絡会
田鶴野	サロン、福祉研修会、田鶴野地区福祉連絡会
三 江	サロン、福祉部小委員会、民生委員連絡会、研修会
五 荘	サロン、集い場交流会、福祉研修会、福祉連絡会
新 田	福祉研修会、福祉啓発活動、サロン世話役交流会
中 筋	カフェ、地域福祉研修会、見守りマップ、福祉啓発冊子作成・啓発
港	サロン、見守り標語作成、研修会、ワークショップ、福祉だより、港地区福祉連絡会
奈 佐	カフェ、地域福祉研修会、奈佐地区福祉連絡会、なさいち
神 美	カフェ、福祉研修会、集いの場一覧表作成、サロン世話役交流会、福祉部代表者会
城 崎	カフェ、研修会（勉強会）、認知症カフェ
竹 野	カフェ、玄さん元気教室、見守りマップ、勉強会、座談会
中竹野	カフェ、ふれあい居酒屋、認知症サポーター養成講座、ふれあいマーケット
竹野南	喫茶、玄さん元気教室、イナカーウォーキング、わいわい朝市、支え合い通所、支え合い生活支援、防災ワークショップ、移動交通ワークショップ
国 府	地域福祉研修会、情報交換会
八 代	カフェ、イナカー存続事業、八代オクラ活動
日 高	健康づくり講座、一人暮らし高齢者の見守り、防災ワークショップ
三 方	カフェ、支え合いマップ、福祉施設との連携、福祉体験啓発、三方デザイン会議
清 滝	カフェ、福祉研修会、一人暮らし高齢者交流会、防災ワークショップ
西 気	カフェ、地域福祉研修会、花めぐり、にっしーポイント
弘 道	カフェ、防災研修会、防災士活動啓発
菅 谷	喫茶、玄さん元気教室、地域福祉研修会、ふれあい広場（多世代交流）、独居老人見守り支援
福 住	カフェ、こどもカフェ、地域福祉研修会、独居老人見守り支援
寺 坂	カフェ、地域福祉研修会、認知症研修会、高齢者交通安全教室
小 坂	防災学習会、防災研修、サロン世話役交流会、防災人材バンク、不用品交換会
小 野	サロン、健康福祉部会、健康教室
資 母	サロン、玄さん元気教室、一人暮らし高齢者の集い、まごのて活動、救急医療情報キット啓発、地区通信発行、友愛訪問、福祉連絡会
合 橋	カフェ、玄さん元気教室、一人暮らし高齢者の集い、まごのて活動、買い物ツアー、友愛訪問、福祉連絡会
高 橋	サロン、一人暮らし高齢者の集い、緊急連絡先カード、友愛訪問、福祉連絡会

(課題)

支え合い生活支援サービス事業では、2022 年 9 月から新たに 1 地区の事業開始がりましたが、生活支援・通所介護事業共に計画値通りの整備とはなりませんでした。

ウ 認知症総合支援事業（認知症あんしん大作戦）の推進について

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けられるよう支援体制の充実を図ります。

（概要）

認知症の人やその家族の視点を重視して取り組みます。

（推進状況）

1 普及啓発・本人発信支援

	認知症サポーター 養成講座	認知症サポーター フォローアップ講座	認知症キャラバン メイト連絡会	身近な場における 認知症理解の 普及・啓発
実施回数	24 回 (2023 年 2 月末現在)	1 回 (2023 年 3 月予定)	1 回 (2023 年 3 月予定)	14 回 (2023 年 2 月末現在)
参加人数	592 人			202 人

2 予防

	認知症予防講座
実施回数	4 回 (2022 年 12 月末現在)
参加人数	76 人

3 早期発見・早期対応

	認知症に関する 相談件数 (2022 年 12 月末現在)	認知症疾患医療センタ ー等との連携件数 (2023 年 2 月末現在)	認知症初期集中支援 チーム対応件数 (2023 年 2 月末現在)
件 数	697 件	3 件	15 件

4 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

	認知症事例支援相談会 (2023 年 3 月予定)	認知症家族介護教室 (2022 年 11 月 17 日、12 月 9 日)
実施回数	1 回	2 回
相談件数		41 人

	認知症カフェ・つどい (2023 年 2 月末現在)
開設個所数	9 カ所

5 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

	若年性認知症の人と家族のつどい (2023 年 2 月末現在)
実施回数	11 回
参加人数	120 人

	事前登録者数（死亡者除く） (2023 年 2 月末現在)
認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク	109 人

(課題)

認知症カフェは当事者の居場所・社会参加できる場所として整備しています。

今後は、認知症カフェ以外にも、当事者の居場所、社会参加できる場所の整備が必要です。

認知症になっても安心して地域で暮らしていけるよう、2021 年度に認知症への正しい理解を進めるために作成した DVD「認知症とともに」を活用し、更なる認知症の理解の普及・啓発を推進していくことが必要です。

エ 高齢者福祉 3 事業について

高齢者等の孤立の防止、社会参加の促進及び閉じこもりによる心身機能の低下を防ぐことを目的とし、高齢者等が引き続き住み慣れた地域で生活を続けられるよう支援体制の充実を図ります。

(概要)

- 1 一人暮らし高齢者等安心・見守り活動奨励金
一人暮らし高齢者等への定期的な見守り活動を行う行政区に対し、奨励金を交付。
- 2 玄さん元気教室奨励金
玄さん元気教室の実施行政区等に対し、奨励金を交付。
- 3 ふれあいいきいきサロン補助金
7 年目以降も継続してサロン活動を行う行政区や地域コミュニティ組織が行うサロン活動に対し、社会福祉協議会を通じて補助金を交付。

(推進状況【2023 年 2 月末現在】)

- 1 一人暮らし高齢者等安心・見守り活動奨励金 (単位：区)

	対象区数	実施区数		比較増減
		2021 年度	2022 年度	
豊岡	123	115	117	2
城崎	31	17	18	1
竹野	42	35	34	△1
日高	70	65	65	0
出石	51	48	48	0
但東	42	41	40	△1
合計	359	321	322	1

- 2 玄さん元気教室奨励金 (単位：団体)

	2021 年度		2022 年度		比較増減	
	実施団体数	奨励金交付数	実施団体数	奨励金交付数	実施団体数	奨励金交付数
豊岡	66	61	67	61	1	0
城崎	8	7	8	7	0	0
竹野	22	20	22	17	0	△3
日高	53	50	54	48	1	△2
出石	37	35	36	34	△1	△1
但東	31	27	31	26	0	△1
合計	217	200	218	193	1	△7

3 ふれあいいきいきサロン補助金

【行政区サロン】

(単位：区)

	対象区数	2021 年度		2022 年度		比較増減	
		実施区数	補助金 対象区数	実施区数	補助金 対象区数	実施区数	補助金 対象区数
豊岡	123	99	32	97	47	△2	15
城崎	31	18	12	18	12	0	0
竹野	42	26	14	26	18	0	4
日高	70	53	48	51	46	△2	△2
出石	51	41	23	41	25	0	2
但東	42	32	20	32	19	0	△1
合計	359	269	149	265	167	△4	18

※補助区分：1～6年目は、豊岡市社会福祉協議会交付

7年目以降は、豊岡市社会福祉協議会を通じて、市が補助金交付

【コミュニティサロン】

(単位：コミュニティ)

	対象数	2021 年度		2022 年度		比較増減	
		実施数	補助金 対象数	実施数	補助金 対象数	実施数	補助金 対象数
豊岡	10	9	9	9	9	0	0
城崎	1	1	1	1	1	0	0
竹野	3	3	3	3	3	0	0
日高	6	4	4	4	4	0	0
出石	6	5	5	4	4	△1	△1
但東	3	3	3	3	3	0	0
合計	29	25	25	24	24	△1	△1

(課題)

2022 年度、「ふれあいいきいきサロン」においては、新型コロナウイルス感染予防の観点から、集まる機会を縮小する等の理由で、活動を一旦休止する団体等があり、前年度より実施団体数は減少しました。

今後、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえたうえで、活動再開への働きかけを行う必要があります。

オ 家族介護用品支給事業について

国の地域支援事業として交付金を受け実施している「家族介護用品支給事業」については、国からは、本事業を地域支援事業から除外する方針が示されています。

第8期介護保険事業計画期間中（2021～2023年度）においては、例外的激変緩和措置として交付金対象となっておりますが、第9期介護保険事業計画以降の取扱いは現在のところ未定となっております。

また、2022年度は、コロナ渦において物価の高騰の影響を受けた在宅で高齢者の介護をしている同居家族に対し、本年度に限り介護用品支給額を増額(5,000円/年)する取組みを実施しました。

（概要）

在宅で「要介護4」以上、または「要介護3」と認定された高齢者で要介護認定における認定調査票の「排尿」又は「排便」の項目において、「介助」又は「見守り等」に該当する高齢者を在宅で介護されている市民税非課税世帯の家族に対し、紙おむつや尿取りパッド等の介護用品と引き換え可能な介護用品引換券（6,000円/月）を交付。

（推進状況）

国の実施要綱に基づき、事業を実施させていただいています。

介護支援専門員からのアンケート調査を実施し、本事業のニーズ等の把握に努めました。

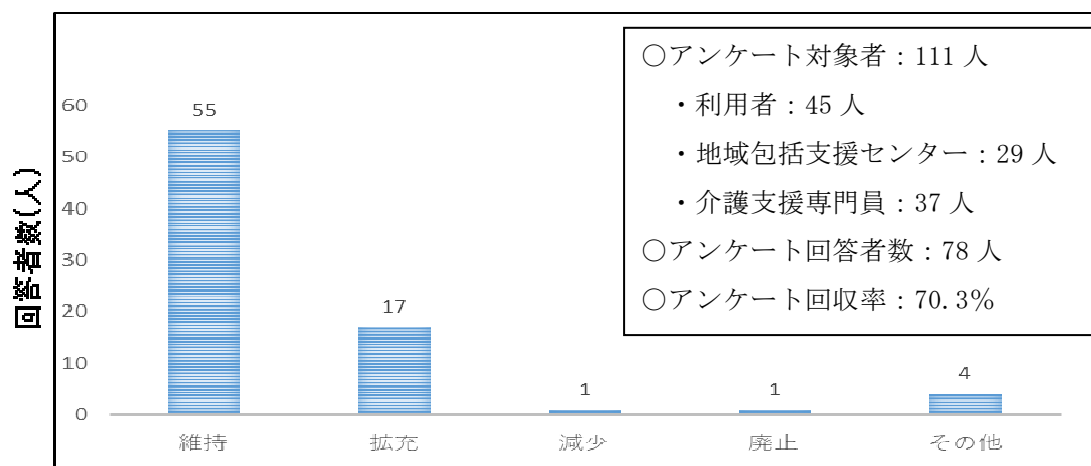
（1）介護度別の利用状況等

（2023年1月末現在）

年 度	介護度別実利用者数（人）		支給額（円）
2022	要介護3	26	2,346,928
	要介護4	43	
	要介護5	27	
	合 計	96	

（2）アンケート調査

家族介護用品支給事業のあり方について、利用者、地域包括支援センター職員、ケアマネジャーの計111人に対し、アンケート調査を実施した。



アンケート調査結果により、「事業の維持」「事業の拡大」を希望すると回答した方は 92.3%の結果となっており、高齢者を在宅で介護されている家族にとって、本事業は大きな役割を果たしている。

(今後の方針)

本事業は、第 8 期介護保険事業計画期間における激变的緩和措置であることから事業の継続等について検討を行ってきました。

市としましては、第 9 期介護保険事業計画から、本事業が地域支援事業から除外された場合においても、事業を「継続実施」したいと考えております。

なお、財源については、第 1 号被保険者保険料とし、事業は「保健福祉事業」で実施したいと考えております。

	市町村特別給付	保健福祉事業	一般財源事業
財 源	第1号被保険者の保険料	第1号被保険者の保険料	一般財源
支給対象者	要支援・要介護認定者	被保険者・家族等	高齢者など(市町村が定める)
特 徴	・介護保険料の引き上げ(1号保険料100%) ・償還払いのため、利用者の手続きが煩雑 ・<u>条例制定が必要</u>	・介護保険料の引き上げ(1号保険料100%) ・現在の支給対象者と同じ	・<u>市の財政への影響が大きい(一般財源)</u>
検討結果	×	○	×

カ 地域包括ケアシステムについて

（概要）

地域包括ケアシステムとは、「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組み」のことであり、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築およびさらなる深化・推進を目指しています。

第8期計画では地域ケア会議における個別事例の検討において行う課題分析やケアマネジメント支援の積み重ねを通じて、地域に共通する課題や有効な支援策を明らかにし、地域に不足する資源の開発や高齢者の自立支援に必要な施策の展開を図ります。

（推進状況）

地域包括ケアシステムの実現に向けた手法である地域ケア会議の開催を通じて、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めます。

今年度は昨年度に引き続き地域課題整理型地域ケア会議を開催し、日常生活圏域ごとに課題を整理分析しました。また日常生活圏域ごとの課題を基に豊岡市全体としての課題や方針案を検討する地域ケア推進会議設置に向けた事前会議を開催し準備を進めております。

1 自立支援型 地域ケア会議

- (1) 内 容 自立支援に向けたケアプランの検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、理学療法士、生活支援コーディネーター、豊岡市各振興局、高年介護課等
- (3) 開催頻度 月1回程度

2 個別ケア型 地域ケア会議

- (1) 内 容 高齢者の生活の質の向上のため、課題解決を検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、関係機関等
- (3) 開催頻度 随時

3 地域課題整理型 地域ケア会議

- (1) 内 容 自立支援型や個別ケア型の事例から抽出された課題を整理分析し、対応策を検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、理学療法士、豊岡市、生活支援コーディネーター、関係機関等
- (3) 開催頻度 年2回程度

（今後の方針）

来年度は、日常生活圏域ごとの課題を基に豊岡市全体としての課題や方針案を検討する地域ケア推進会議を設置する予定です。

キ 介護事業所の状況について

(ア) 公募関係

(目的)

- 1 (看護) 小規模多機能型居宅介護は、在宅サービスの中核的役割を担うことから、中長期的な目標として、2025 年までに日常生活圏域ごとに 1 つ以上の整備を目指してきました。
- 2 特定施設入居者生活介護は、その指定を受けることによって、特別養護老人ホームへの入所を希望されている軽度（入所の必要性がそれほど高くない）の方の受入れ施設としての役割を担うことが期待されているため、特定施設入居者生活介護の指定を受けることを基本として高齢者の住まいの整備を図ってきました。

(推進状況) 公募の概要

事業種別	(看護) 小規模多機能型居宅介護 ^{*1}	特定施設入居者生活介護 ^{*2}
施設数	2 事業所（登録定員 29 人）	定員（入居定員 48 人、利用定員 34 人）の範囲内で選定基準による得点の高い順に選定
整備圏域	小規模多機能型居宅介護 城崎または竹野圏域 看護小規模多機能型居宅介護 日高以外の圏域	市内全域
公募期間	(1) 2022 年 6 月 1 日～7 月 13 日 (2) 2023 年 1 月 4 日～2 月 15 日	
公募結果	応募事業者なし	応募事業者なし

(今後の方針)

第 8 期介護保険事業計画期間中には事業者から応募がなかったため、整備ができませんでした。

しかし、介護認定者の増加から整備は必要と考え、第 9 期介護保険事業計画において再検討を行います。

^{*1} (看護) 小規模多機能型居宅介護：通いによるサービスを中心にして、利用者の希望などに応じて、訪問や宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。(看護)が付く場合は、看護のケアも受けられます。

^{*2} 特定施設入居者生活介護：介護保険の指定を受けた特定施設(有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など)が、入居している利用者に対して入浴・排せつ・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行います。

(イ) 公募以外の状況

主な介護事業所・施設数

(単位：箇所)

種 別	2022 年 3 月 1 日	2023 年 3 月 1 日	増 減	備 考
(1) 養護老人ホーム	2	2	0	
(2) 特別養護老人ホーム	10	10	0	
(3) 介護老人保健施設	2	2	0	
(4) 短期入所生活介護施設	14	14	0	
(5) デイサービスセンター	34	34	0	増加 リハビリセンター and Reha. TOYOOKA 減少 デイサービス ポポロの杜
(6) 認知症対応型デイサービスセンター	5	5	0	
(7) 小規模多機能型居宅介護事業所	5	5	0	
(8) 看護小規模多機能型居宅介護事業所	1	1	0	
(9) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1	1	0	
(10) 認知症高齢者グループホーム	14	14	0	
(11) 軽費老人ホーム（ケアハウス）	5	5	0	
(12) サービス付き高齢者向け住宅	7	7	0	
(13) 有料老人ホーム	3	3	0	
(14) 訪問介護事業所	22	21	△1	減少 訪問介護 向
(15) 訪問看護事業所	9	10	1	増加 但馬訪問看護ステーション
(16) 居宅介護支援事業所	32	29	△3	減少 ここのか居宅介護支援事業所 銀ちゃんの家居宅介護支援事業所 ライフひょうご居宅介護支援事業所